

協会けんぽ2025(令和7)年度決算(見込み)のお知らせ

2025年度の決算(見込み)の概要

2025年度の決算は収入が12兆3,406億円、支出が11兆6,611億円、収支差は前年度から209億円増加し、6,795億円となりました。

保険料収入は、賃上げや被保険者数の増加により前年度比4,057億円の増加となりました。保険給付費は加入者1人当たり保険給付費が増加した影響で前年度比2,818億円の増加となっています。また、拠出金等は後期高齢者支援金が増加した影響で前年度比1,634億円の増加となりました。

※詳しくは、協会けんぽのホームページをご覧ください。

■ 2025年度決算(見込み) | 医療分 (単位: 億円)

収入	保険料収入	110,546 (+4,057)
	国庫補助等	12,383 (+693)
	その他	477 (+132)
	計	123,406 (+4,881)

支出	保険給付費	75,369 (+2,818)
	拠出金等	37,829 (+1,634)
	その他	3,413 (+220)
	計	116,611 (+4,672)

単年度収支差	6,795 (+209)
--------	--------------

※()内は、対前年度比

※支出の「その他」は下図の「健診・保健指導経費」「協会事務費」「その他の支出」の合計

保険給付費 64.6%

協会けんぽが医療機関に支払う費用や、傷病手当金等の支払いに要する費用

高齢者医療への
拠出金等 32.4%

高齢者の皆さまの医療費の一部を現役世代が負担しています。

健診・保健指導経費 1.5%

協会事務費 1.0%

その他の支出 0.5%

支出
約11.7兆円

保険料収入 89.6%

被保険者・事業主の皆さまに納めていただいている保険料

収入
約12.3兆円

国からの補助金 10.0%

その他の収入 0.4%

Q.

2025年度の決算は黒字でしたが、協会けんぽの財政は今後どのような見通しなのでしょうか？

- A. 協会けんぽの財政は、当面、賃上げ等により保険料の増加が見込まれるものの、
- 現在の不安定な世界情勢が我が国の経済社会に及ぼす影響が不透明であり、これまでのような保険料収入の増加が中長期的に継続するか予測が難しいこと
 - 協会けんぽ加入者の平均年齢の上昇や医療の高度化等により保険給付費の継続的な増加が見込まれること
 - 団塊の世代がすべて後期高齢者になったことにより後期高齢者支援金の中長期的に高い負担額のまま推移することが見込まれること
- 等に留意が必要と考えています。

また、医療費については、物価や賃金、人手不足等の医療機関等を取りまく環境の変化に対応するため、2026(令和8)年度診療報酬改定において、診療報酬(本体部分)の改定率が3.09%(2026年度: +2.41%、2027年度: +3.77%)と高い伸び率とされ、2026年6月以降の医療費に反映されることなどから、今後の動向を注視する必要があると考えています。

※2026年度は平均保険料率を10.0%から9.9%に引き下げました。

※2026年度から3年間、国庫補助に対する特例減額の措置の控除額に約1,500億円(3年間累計)が上乗せされることとなっています。

事業主・
加入者の
みなさまへ

令和8年度 被扶養者資格再確認の ご協力をお願い

協会けんぽでは、保険給付の適正化を目的に、被扶養者資格の再確認をさせていただきます。
被扶養者資格の再確認は、給付の適正化はもとより、加入者みなさまの保険料の負担軽減（前期高齢者納付金の負担軽減を含む。）等につながる大切な確認となりますので、ご理解とご協力をお願いいたします。

※被扶養者資格の再確認は、被扶養者として認定されている方が、現在もその状況にあるか等を確認させていただくものです。

※根拠法令：健康保険法施行規則第50条



令和 8年度の 予定

●送付時期

令和8年10月下旬から11月中旬（予定）にかけて順次送付いたします。

●提出期限

令和8年12月11日（金）

●確認の対象となる方

以下のいずれかに該当する被扶養者

- ①健康保険の資格が重複している可能性が高い方
- ②同居が扶養認定の要件となっている続柄の方のうち、被保険者と別居している可能性が高い方
- ③令和7年中の課税収入額が130万円（60歳以上の場合は180万円、19歳以上23歳未満かつ配偶者でない場合は年間収入が150万円）の金額を超過している方（18歳未満の方や令和8年4月1日以降に認定された方を除く）

※上記に該当する被扶養者がいない場合は、被扶養者状況リストはお送りいたしません。

令和 7年度の 実施 結果

令和7年度被扶養者資格の再確認にご協力いただき、誠にありがとうございました。
被扶養者資格の再確認の実施結果は次のとおりです。

被扶養者の解除となった方：約18.8万人

被扶養者の解除により見込まれる前期高齢者納付金の負担軽減額：約6億円

就職して健康保険の資格を取得した場合や一定の収入を超えた場合など、被扶養者の条件に該当しなくなった場合は、その都度「健康保険被扶養者（異動）届」の提出が必要です。被扶養者に異動があった場合は、日本年金機構名古屋広域事務センターへすみやかな届出をお願いいたします。



退職後の任意継続保険加入は、 電子申請が便利です！

PC・スマホから申請できるため、郵送にかかる時間やコストを削減できます。
（※事前に「マイナポータル」アプリのダウンロードと「マイナンバーカード」が必要です。）

詳しくはこちら



「もしも」と「いつも」に安心を。

協会けんぽ

全国健康保険協会
愛知支部

〒450-6363 名古屋市中村区名駅1-1-1 JPタワー名古屋23階



052-856-1490（代表）



8:30～17:15 土・日・祝日・
年末年始を除く



各種手続きは
電子申請が便利です